

明治神宮では、神道儀式が毎日執り行われます。御日供祭として知られる儀式は太鼓の演奏とともに始まります。¥朝御饌(朝の奉納)は午前 8 時から、(夕御饌: 夕の奉納) は午後 2 時から本殿で始まります。それぞれ約 10 分間続きます。その間、これらの儀式では神へ供物が捧げられ、世界平和とすべての人々の幸福のための祈りが捧げられます。

神道における太鼓の使用の歴史は長いです。古代より太鼓は宗教儀式に使用され、その反響音が人々に神の存在を感じさせます。また、太鼓の音は儀式を神聖化する役割を果たしたと考えられています。今でも儀式の始まりと終わりに鳴り、神に呼びかけるための手段として利用されています。